

第一回箱根サイクル駅伝 自転車安全走行をアピール

十一月二十九日(日)、小学四年生から六年生の参加選手達が、自転車で行きながら「箱根駅伝」と、ほぼ同じコースをタスキで繋ごう!というイベント「箱根サイクル駅伝二〇〇九」が開催されました。このイベントは今回、初開催。交通安全を啓蒙するタスキを三人一組で、十八区間・計約百二十kmの道のりを確実に繋げるために、レディー・ゴー・ジャパン(Ready Go JAPAN)女子自転車チームの堀友紀代・松田千裕・吉井玲香そして佐藤咲子の四選手がコース全区間の小学生参加者を伴走サポートを担当しました。

当日の朝六時。集合場所となった東京の千代田区・科学技術館に、次々と参加小学生選手たちが集まり、受付で揃いの特製ジャージを受け取ります。参加小学生たちは朝からとても元気いっぱい!第一区を走る小学生参加者とRGJチーム伴走選手で早速、出発前に「あいさつと準備体操。今日一日、全十八区を、彼らが肩にかけている「自転車は左側走行で!」と書いてあるタスキで繋いでいきます。この後七時より開会式。第一区を走る選手の自転車チェックするRGJチーム選手たち。ブレーキとかパンクしてないかとか、結構、走行前の点検って重要なので真剣です。この開会式では、「ミスター競輪」こと、中野浩一氏が「あいさつとおこない、さらに第一区を特別ゲストとして一緒に伴走しました。スタート直後は、千代田区内を走行。日曜日の静かな官庁街を走ります。朝早くて車が少なく気持ちよく走る参加小学生と伴走チーム。そして、二区に無事到着!タスキを引き継いでいる参加小学生選手に渡し、タスキを繰り返します。

この後、順調に進み東京都内を越えて、神奈川県内に入りました。これから小田原方面に向かいます。こちらに差し掛かると、ちよつとずつ登り区間が多くなってきました。途中、どうしても時間が間に合わなくなってしまうので、箱根役所から繰り上げスタートになってしまいました。何とか最終十八区の箱根フラワースタートに到着。特別ゲスト選手のプリッツエン宇都宮ト走者のプリッツエン宇都宮ト走者とともに、最後の区間はRGJとプリッツエンの日本自転車女子選手コラボでゴールを華やかに目指します。そして午後五時にゴール!箱根駅伝と同じゴール地点で感動もひとしお。そして閉会式が日暮れとともにおこなわれ無事終了しました。最後は、頑張ったタスキを繋いでくれた参加小学生選手たちと記念撮影!ここでも凄く自転車選手の姿が!北京パラリンピックのトラック競技・金メダリスト石井雅史選手が、最終区間会場まで駆けつけてくれたのです。石井選手とは、サイ



(右)登り区間を走る小学生参加者と、伴走のRGJ選手たち(下)タスキを手渡す小学生参加者たち



(下)タスキを手渡す小学生参加者たち



(上)閉会式で参加小学生の皆と集合写真を撮るRGJ選手たち。(左)小学生にタスキを渡す中野浩一氏。写真の中央手前



(左)小学生にタスキを渡す中野浩一氏。写真の中央手前

速報シクロクロス 世界選手権代表に 福本選手が決定!

日本自転車競技連盟(JCF)のより、一月三十日と三十一日にチェコのターボルで開催されるシクロクロス世界選手権に派遣する日本代表選手団のメンバー正式決定が先日発表され、このメンバーにReady Go JAPAN(レディー・ゴー・ジッパン)女子チームに所属する月フランス遠征に引き続き福本千佳選手(シクロクロスで、今度は日本代表としてReady Go JAPAN大阪履正社)が、初のジュニア女子シクロクロス日本代表選手として出場することとなりました! Ready Go JAPANでは福本千佳選手と武田和佳選手(シクロクロス)はARAI-MINACAとして出場が、全国のシクロクロス大会で、二人ともにシクロクロス選手としての活躍をしております。その中で世界選手権選抜対象大会である「セレクトシヨンレース」の総合獲得ポイント、および十二月十三日に石川県で開催されたシクロクロス全日本選手権での結果により、福本選手が世界選手権レール日本代表選手の権利を獲得しました。一方で武田選手も福本選手の次点でありましたが、今回のジュニア女子派遣は一回に限りという意向により、残念ながら世界選手権の出場は叶いませんでしたが、引き続き国内のシクロクロス転戦を二月上旬まで続ける予定となっております。昨年の七

どが場内のオーロラヴィジョンに大写真。小学生たちには良い記念になったようです。途中、どうしても時間が間に合わなくなってしまうので、箱根役所から繰り上げスタートになってしまいました。何とか最終十八区の箱根フラワースタートに到着。特別ゲスト選手のプリッツエン宇都宮ト走者とともに、最後の区間はRGJとプリッツエンの日本自転車女子選手コラボでゴールを華やかに目指します。そして午後五時にゴール!箱根駅伝と同じゴール地点で感動もひとしお。そして閉会式が日暮れとともにおこなわれ無事終了しました。最後は、頑張ったタスキを繋いでくれた参加小学生選手たちと記念撮影!ここでも凄く自転車選手の姿が!北京パラリンピックのトラック競技・金メダリスト石井雅史選手が、最終区間会場まで駆けつけてくれたのです。石井選手とは、サイ



(上)関西シクロクロスマイアミで力走する福本選手(下)関西クロスで優勝の福本選手。写真中央



(下)関西クロスで優勝の福本選手。写真中央